

再処理・リサイクル部会
平成30年度 第3回運営小委員会 議事録

1. 日時：平成30年10月18日（木） 13：30～15：30
2. 場所：JAEA 東京事務所（内幸町） 20階 第4会議室
3. 出席者：森田部会長、中村副部会長、魚住委員、大村委員、岡村(泰)委員、川久保委員、三倉委員、佐藤委員、津幡委員、岡村(信)（記録）

4. 配布資料：

- 資料 3-1 平成30年度 第3回会合 議事次第
資料 3-2 平成30年度 第2回運営小委員会 議事録
資料 3-3 第14回再処理・リサイクル部会セミナー準備状況について
資料 3-4 部会等運営委員会報告、重複回避分野・技術マップの見直し等について
資料 3-5 2019年春の年会での当部会主催の企画セッション案について
資料 3-6 平成30年度 部会賞について
資料 3-7 平成30年度 運営委員会選挙について
資料 3-8 「核燃料サイクル成立性」研究専門委員会 旅費について

5. 議事概要

5. 1 前回議事録について（報告者：森田部会長）

- ・前回議事録は公開済みであることが報告された。（資料 3-2）
- ・原子力学会誌特集号への寄稿については、日本原燃／大塔氏、東北大学／秋山先生に執筆を依頼し、原稿は提出済みであることが報告された。

5. 2 第14回再処理・リサイクル部会セミナー準備状況について（報告者：岡村(泰)委員）

- ・役割分担について説明があり、欠席の委員については後日、可否を確認する。
- ・「講師派遣のお願い」のフォーマットは昨年度のものをベースとする。
- ・作業分担リストについては項目のみの確認であったが、予算の積算ができるように具体的な担当者を早急に選定する。
- ・田中氏の講演については、午後の発表（題目については調整中）と内容が異なるため特別講演とする。また、テーマは、午前と午後の内容が総括できるように再検討する。（案：「核燃料サイクルの将来と再処理における核物質管理技術」）
- ・参加費は、諸経費と会場費を考慮して最終決定する。
- ・学生参加者への交通費補助については、実費で精算すること、上限が3万円であること、合理的な経路の利用することについて、その他詳細な注意事項とあわせて、申請手続きの書類をメールで配布する際に該当者へ連絡する。また、案内の同項目にある「旅費」という記載を「交通費」に改める。
- ・11月初めに学会事務局にプログラムの確認を受けることを目標とし、その際に部会開催に必要なとなる経費については川久保委員がとりまとめて佐藤委員へ情報提供する。これにより参加費

や懇親会費を検討する。但し、プログラムの確認前に、メールによる暫定の案内を発信する。

- ・昨年度はポスターセッションの時間が足りないとの意見があったため、昼食の時間と重なるが準備ができたブースから、20分前倒しして12:40に開始し、14:30までとする。また、午後のセッションの時間を14:40～16:40とする。
- ・案内には、参加費の支払い方法とCPDプログラムへの参加について、夏期セミナーと同様の記載をする。
- ・案内を11月初めには発信できるように準備する。

5. 3 部会等運営委員会報告、重複回避分野・技術マップの見直し等について（説明者：魚住委員）

- ・部会等運営委員会報告等について魚住委員より説明があった。（資料3-4）
- ・技術マップについて、専門分野毎に主専門分野とする部会が一つとなるように見直しの要請があったことから、701-7「環境修復」は主専門分野から関連分野へ変更することとした。504-1「同位体分離等」は核不拡散等と水化学の部会と、504-2「核化学等」は水化学部会と協議して、当部会が主専門分野となるように調整する。402-1「核物質管理」については、現時点では無印であるが関連分野に変更する。403-1「リスク評価技術とリスク活用」については、PRAが主であり、主関連分野から関連分野に変更する。
- ・標準委員会との連絡責任者は、提案されている三つの活動について一括して魚住委員にお願いすることとするが、将来的に実際の活動状況を見て複数の委員で分担することも視野に入れる。

5. 4 2019年春の年会での当部会主催の企画セッション案について（説明者：魚住委員）

- ・2019年春の年会での当部会主催の企画セッション案が魚住委員より説明された。（資料3-5）
- ・高速炉、湿式はキーワードに入れず、技術的な見地から乾式をテーマの中心とする。

5. 5 平成30年度 部会賞について（説明者：森田部会長）

- ・表彰委員の人選、秋の年会の採点状況、部会賞募集の進め方について説明があった。（資料3-6）
- ・募集要項は、応募先、日付を更新することで問題なし。

5. 6 平成30年度 運営委員選挙について（説明者：森田部会長）

- ・運営委員選挙について説明があった。（資料3-7）
- ・前回と同様、選挙管理小委員会は今年度で辞任する委員で構成する。手順等についても、前回のものを踏襲する。

5. 7 「核燃料サイクル成立性」研究専門委員会 旅費について（説明者：佐藤委員）

- ・「核燃料サイクル成立性」研究専門委員会 旅費について当部会から支出できないかとの問い合わせがあり、研究専門委員会は学会・企画委員会の承認マターであることから部会からの支出はできないことが判明した旨の説明があった。（資料3-7）
- ・別途、予算外承認等の手続きが可能かを委員会側で対応していただくこととし、当部会から本研究専門委員会への旅費の出費はしないことを確認した。

5. 8 その他

- ・ 次回の運営小委員会は 11 月を予定する。
- ・ 予算の運用について改善点（特に、旅費等）があれば、次年度の予算申請に間に合うように 11 月末までに会計担当の委員に連絡すること。
- ・ 三倉委員より、学会全体の予算申請と執行の間に乖離があることが紹介された。予算申請は過去の最大値ではなく前年度の実績を基に申請し、不足することが明らかとなった場合に改めて予算外申請を行う方向が望ましいとのことである。
- ・ 津幡委員より、10 月 24 日から 26 日に東海村で IPRC が開催されるとの案内があった。テーマは、乾式再処理、溶融塩炉、溶融塩に関連する技術であり、参加者は、日本から 18 名、米国から 16 名、中国から 8 名、韓国から 9 名である。

以上